STIGMA-ROTARY®

重要

潤滑には、SUPER LUBE のみを使用してください

13 ボルト以上でマシーンを動作させないでください

動きを和らげる（ソフトにする）には、指または六角レンチを使ってコントロールスクリューにて調節する事ができます
その後にマシーンを動作させ、ニードルピンに触れて加減を見てください

ライニングには時計回り
シェイディングには反時計回り

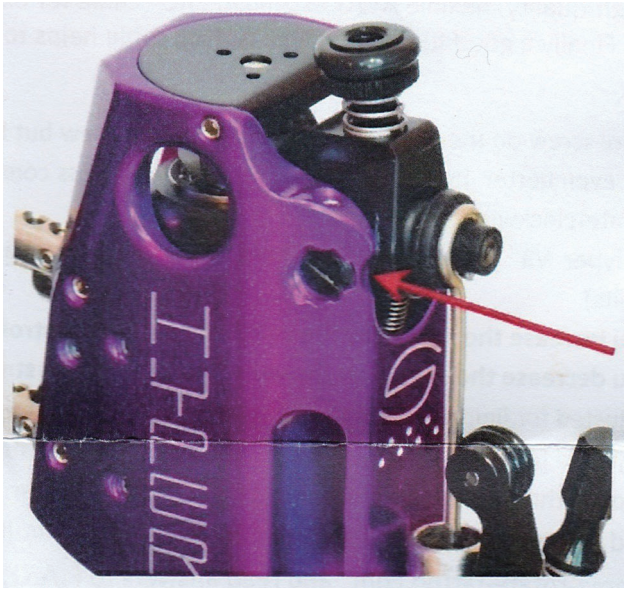
HYPER　V3 には針を固定するためのゴムバンドは不要です
代わりにステビライザーを使用してください
ニードルを固定させる時に、必要以上に強く締めすぎないでください
故障（インクの出が悪くなる、マシーンの動きが遅くなる等）の原因となります

スペア・パーツ、テクニカル・サポート、サービスや修理には直接こちらにご連絡ください
→www.stigma-rotary-tattoo.com

スティグマの販売業者は限られた事のみお答えできますが、修理やスペア・パーツ、機械に関する専門的な質問にはお答えいたしかねます

グリースする際は、下の写真に矢印で示してある両サイドの位置に、少量の SUPER LUBE をおおよそ４００～５００使用時間に一回行ってください
３秒間 SUPER LUBE を指でおさえながらマシーンを作動させてて下さい

写真で示してある位置のみに摩擦が加わる構造で、グリースが必要です！！
下の写真と全く同じスポット（左右）にグリースしてください
黒いねじを外す必要はありません
SUPER LUBE 以外のオイルなどの潤滑剤は使用しないでください
マシーンを故障を防ぐために、マシーンの他のパーツは絶対にグリースしないでください
マシーンは配達時点でグリースされてあります



マシーン本体に液体物が進入するとモーターが故障しますので、液体を直接マシーンに吹きかけないでください
マシーンを清掃するには、湿らせた防腐性の布かペーパータオルで拭いてください

Hyper V3 にはポラリティー（両極性）保護がワイヤーにありますのでマシーンはコードのポラリティー（両極性）が正しいときにだけ起動します。
正しくワイヤーのポラリティー（両極性）をセットアップしてください。そうすることで、モーターの最長の寿命で Stigma のマシーンが使用できます。
RCA のプラス極は中央に、クリップコードのプラス極は上部にあります。

プラス極のクリップコードを赤くマークし、常にマシン上部のプラス極に赤いワイヤーで接続することをお勧めいたします。

ポラリティー（両極性）保護は HyperV3 の Swash-drive システムが最適に動作させ、そしてモーター保護のためにとても重要です。
安価で低品質なパワーサプライは安定した電力をマシンに供給できず、モーターやマシン本体に損傷を与えます。
マシーンをよい状態で動作させるためには、高品質な RCA コードの使用をお勧めいたします。そして高品質なパワーサプライ、フットスウィッチが必要です。

Hyper V3 のコントロールスクリューはサムスクリューのようですが、コントロールスクリューには六角レンチスロットがあり、六角レンチによってご自身の指より簡単に汚染を避けて調節できます。

コントロールスクリューを最大 3.5 周まで絞るとライニングに、反時計回りに回すとシェイディングになります。
Hyper V3 のストロークの長さは、電圧（スピード）によっても自動で変化します。
電圧によってスピードが速くなれば、ストロークは長く、遅くなればストロークは短くなります。
コントロールスクリューより、ストロークは最小 3.6mm（ハード）から最大 6mm（ソフト）に調節可能です。
※ニードルステビライザーの圧力もストロークの長さに影響します。
詳細はウェブサイト内を参照してください。http://www.stigma-rotary-tattoo.com/faq/

ロータリーマシンの基本はライニングの時は比較的速いスピード、シェイディングの時は比較的遅いスピードでマシンを動作させます。

ライニング：10 ～ 12.5（推奨 9.5 ～ 11.5）ボルト
シェイディング：7.5 ～ 11（推奨 8 ～ 10）ボルト

13 ボルト以上でマシンを動作させないで下さい。モーターを損傷させ、皮膚にダメージを与えます。

ニードルステビライザーを強く締めすぎないで下さい。

全てのスティグマ製品について
ご購入日から 12 ヵ月の製品保証が付いています。製造上の不備による製品の不具合のみ無償にて修理保証致します。
下記の場合は保証適用外となりますのご注意下さい。
●モーターの寿命によるもの
●いかなる人為的な要因によるもの（落下や水濡れ等）
●通常の使用以外での使用、誤った使用
●スティグマオフィシャル以外の方が、分解・改造・修理をした場合
●メンテナンス・保管等の取り扱いが不適正だった場合
●Stigma-Rotary® 提供のマニュアルに沿わない使用
●本体の摩耗・消耗及び消耗品（バネ、ベアリング、オーリング、ネジ等）
●誤ったコードの接続、誤った電圧での使用
スペアパーツ、テクニカルサポート、サービス、修理に関しては全て Stigma® に直接ご連絡ください。

http://www.stigma-rotary-tattoo.com/

※この文書は Stigma® 公式の文書ではありません。Stigma® の公式文書を一部再編・日本語訳したものです。
あくまで Stigma® 公式の意志は付属のマニュアル（英文）、Stigma® 公式ウェブサイトにて公開されているもののみです。